

長岡市長賞

より暮らしやすい社会をつくるために

長岡市立青葉台中学校

三年 加納 莉子

私たちは生活の中で、様々な税を払っています。私は、その「税」がどのようにして使われているのか、なぜ必要なのかという二つの疑問をもちました。

「税」と言うと、私は「消費税」や「所得税」、「固定資産税」などの税しか知りませんでした。ですが、このような身近なものだけではなく、身の回りにはもっとたくさんの税があることを知りました。例えば、「贈与税」は、財産を贈与されたときにかかる税金です。この税は、税務署へ自己申告しなければいけない義務があります。また、「たばこ税・酒税」は、たばこや酒類に課される個別消費税です。消費税という税にも、色々な種類の消費税があることに、驚きました。

このような色々な形で納められた税金も、また色々な形で使われています。主に、人々の健康や生活を守る社会保障費や、国債の返済や利子の国債費、地方を支援する地方交付金などに使われています。

もし税金がなくなってしまうと、道や橋の整備ができなくなったり、警察官がいなくなってしまうたり、誰もが安心して学べる環

境がなくなってしまうです。

このようなことから、税金は私たちの暮らしを支える大きな力になっていることが分かります。私たちは、自分たちの手によって、暮らしや健康を守り、明るい社会を築き上げているのです。

ですが、課題だともあります。

税金の使い道の内訳を見てみると、「道路や住宅などを整備する公共事業費」に充てられている税の割合が、他の使い道に比べて少ないことがわかります。

実際の事例を挙げると、今年の一月に埼玉県八潮市で、下水道管の破損による道路陥没という悲惨な事故が起きました。この事故だけではなく、私たちの身近でもそのような事故は多く起きています。

税金は、私たちの暮らしを豊かにするために、新たなものやシステムをつくることにも必要だと思います。ですが、「新たなものを生み出す」ということよりも、「壊れてしまったものを修繕し、今あるものを大切にしていく」ということを優先した方が社会のためになる、より明るい社会をつくることができるのではないかと私は思います。

そして何よりも、維持管理をしっかりしながら、より豊かな暮らしをつくっていくためには、一人一人が税を納めることが大切です。滞納せずに、納めるべき税をきちんと納めることで、みなさんが安心して過ごせる明るい社会をつくっていくことができるのではないのでしょうか。